

協働通信

各地域協働のまちづくり推進会(以下「推進会」)では、5月～6月にかけて総会を開催し、平成30年度の活動が本格的に始まりました。今月号では、各地域の推進会で行われた活動を紹介します。

谷村地域協働のまちづくり推進会

谷村地域の推進会では、5月24日(木)に宝の山ターゲットボードゴルフ場にて夢実現ひろばを開催しました。当日は天気にも恵まれ、日頃の運動不足の解消とリフレッシュになりました。

また、5月20日(日)～29日(火)にかけて花の植栽も行いました。地域の方のご協力により、合計13カ所に1,215本を植えることができました。



■谷村地区の自治会の皆さんにより植栽されたベゴニアの花

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター1階
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX (43)1322

開地地域協働のまちづくり推進会

開地地域の推進会では、5月20日(日)に新緑トレッキングを開催しました。本年度は、鍛冶屋坂からやまびこ競技場までの都留アルプスのコースを歩き、約20名が参加しました。開地地域以外からも3名の参加があり、この活動は地域を問わず参加していただける恒例行事となっています。

当日は、案内役の宮沢副会長による鍛冶屋坂ピーヤの由来や道中にある草花の説明を聞きながら約2時間かけて競技場まで歩きました。



■昨年度整備された「都留アルプス」のコースは初心者の方でも楽しく歩けたそうです

東桂地域協働のまちづくり推進会

東桂地域の推進会では、6月2日(土)に十日市場・夏狩湧水群遊歩道の清掃活動を実施しました。推進会の会員や「湧水を守る会」を中心とした地元自治会等のボランティアの方など約30名が参加し、2時間かけて草刈り作業を行いました。

東桂地域の推進会では、この他にも鹿留川河川公園やおなん淵の清掃を毎年行い、地域の環境美化活動に取り組んでいますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。



■湧水群の遊歩道を清掃する参加者の皆さん

推進会の総会で、セーフコミュニティについてお話ししました

5月～6月に行われた各地域の推進会に地域環境課職員が伺い、本年度から取り組みが始まったセーフコミュニティについてお話しさせていただきました。

今後、秋以降に具体的な活動が始まりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

また、出前講座も受け付けております。地域の集まりやふれあい講座等に職員が伺いますので、ご希望がありましたら地域環境課までお問合せください。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば「防災食の知識と踊りの集い」
皆で楽しく踊ろう！災害時の食事について学ぼう！

日時 7月26日(木)13時30分～15時30分
場所 吉廣(びゅあ富士横)
問合先 まちづくり交流センター
☎(43)1321

三吉地域

菅野河川公園の草刈と清掃

日時 7月15日(日) 8時～
集合場所 サンタウン玉川河川敷付近
服装など 帽子、長靴(安全靴)、手袋、タオル、作業着を着用し、草刈機、鎌、熊手などを持参してください。
問合先 三吉地域協働のまちづくり推進会会長 相川義美 ☎(43)3093

東桂地域

おなん淵・鹿留川の一斉清掃

日時 7月16日(月・祝日)9時～
集合場所 おなん淵上の東京電力空地
服装 軍手など清掃のできる服装
問合先 東桂地域コミュニティセンター ☎(45)6644

うら山観察会は、1989年に都留市の子どもたちと地域の自然との橋渡しを目的に、都留文科大学の動物学研究成果を生かした観察会としてスタートしました。捕まえて閉じ込めた動物を観察するのではなく、屋外に出会いの場を作って、そこに訪れる野生哺乳類を子どもたちと観察するという画期的な観察会でした。それから30年、これまでに多くの子どもたちと、都留市のうら山に棲むムササビ、野ネズミ、リスなど身近な野生哺乳類の観察を続けてきました。

都留市は、すぐそばに野生動物が棲む森があり、きれいな水が流れています。当たり前を感じていることですが、野生動物が同じ地域に棲んでいるということを実感することは、地域のあり方を考える上でもとても重要なことだと思います。ムササビやリス、野ネズミ、フクロウなど多くの生き物が身近に棲んでいるということは、彼らが暮らすことができる環境が、私たちのすぐそばにあるということです。人間だけが住んでいるのではない、多くの命と繋がって私たちは生きている…そのようなことを実感することが、今特に必要になっていると思います。インクルーシブ教育の考えでは、

いろいろな特性を持つ子どもたちにとって学びやすい環境が、他のみんなにとっても学びやすい環境。そういう学校を作っていくことが求められています。地域においても、私たち人間だけではなく、すぐ近くの森に棲む生き物たちと私たちが、お互いに良い関係を作ってそれぞれの存在を認め立場を尊重していくことが、インクルーシブ教育の考えにも繋がっていくのだと思います。

観察会でムササビやリス、野ネズミに出会った子どもたちからは、「可愛い」と言う声が聞こえます。と同時に「すごい」という感想もよく聞かせてくれます。金子みすゞの詩に「みんなちがって、みんないい。」という一節があります。それを少しアレンジした、「みんなちがってみんなすごい、みんな大切」が、うら山観察会の伝えたいことの一つです。

クマやサルなど難しい問題もありますが、近くに野生哺乳類が棲むうら山があるメリットを生かすことが大切だと思います。そして身近な自然と人が共存する、循環型社会のモデルとなるような街を目指す、その中でうら山観察会ができる役割を全国各地から集まる大学生と一緒に果たしていけたらと思います。

連載・青少年健全育成シリーズ 第324回

『あたりまえのうら山が持つ価値』

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は『家庭の日』
毎月第3日曜日は『青少年を育む日』です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報『つる』広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報『つる』は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄